様式第１号（第５条関係）

年　　月　　日

　（宛先）津幡町長

申請者　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡先

津幡町結婚新生活支援事業補助金交付申請書（新規・継続）

　津幡町結婚新生活支援事業補助金の交付を受けたいので、津幡町結婚新生活支援事業補助金交付要綱第５条第１項又は第２項の規定により次のとおり申請します。

|  |  |
| --- | --- |
| １　婚姻届受理日 | 年　　月　　日 |
| ２　氏名（ふりがな） |  |  |
| （夫）　　　　　（旧姓 　　　　　 ） | （妻）　　　　　（旧姓　　　　　 　） |
| ３　生年月日 | （夫）　　　　年　　月　　日 | （妻）　　　　 年　　月　　日 |
| ４　対象住居に住民票をおいた日 | （夫）　 　　年　　月　　日 | （妻）　 　　 年　　月　　日 |
| ５　貸与型奨学金返済の有無 | （夫）無・有（　　　　　 円） | （妻）無・有（　　　　　 円） |
| ６　所得　※貸与型奨学金を返済した場合はその金額を控除した額 | （夫）　　　　　　　　　　円 | （妻）　　　　　　　　　　円 |
| （合計）　　　　　　　　　円 |
| ７　事業内訳※ 補助申請する項目に記入すること。※支払済の費用 に限る。 | 住居費用（購入、建築） | 契約年月日 | 年　　月　　日 |
| 支払金額（Ａ） | 円 |
| 住居費用（賃借） | 契約年月日 | 年　　月　　日 |
|  | 家賃※ 住宅手当・・・事業主 が従業員に対し支給又は負担する住宅に関する手当等 | 家賃　　　　　　　　　　 円(a)共益費　　 　　　　　　　円(b)住宅手当　　 　　　　　　　円(c)(a)+(b)-(c)＝　　　　　　　　　円 |
| 敷金 | 円 |
| 礼金 | 円 |
| 仲介手数料 | 円 |
| その他 | （　　　　　　）　　　　　　　　円 |
| 支払金額（Ｂ） | 円 |
| 引越費用 | 引越年月日 | 年　　月　　日 |
| 支払金額（Ｃ） | 円 |
| リフォーム費用 | 契約年月日 | 年　　月　　日 |
| 支払金額（Ｄ） | 円 |
| 合計（Ｅ）（Ａ又はＢ＋Ｃ＋Ｄ） | 円 |
| 受給済額（Ｆ） | 円 |
| ８　補助申請額※新規の場合は、30万円又は(Ｅ)のいずれか小さい額を、継続の場合は30万円から（Ｆ）を差し引いた額を記入する。※1,000円未満の端数は切り捨てる。 | 円 |

裏面へ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ９　同意及び確認※該当する項目に はレ点、該当しない項目には×を記入 | 申請者 | □　私は、審査のため町が戸籍及び住民基本台帳の登録状況、町税の課税状況、町税等の納付状況を調査することに同意します。□　私は、他の公的制度による家賃補助を受けていません。□　私は、過去にこの制度に基づく補助を受けていません。□　私は、町税等の未納はありません。□　私は、現在無職です。□　私は、主たる勤務先から住宅手当を受給していません。申請者署名　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 配偶者 | □　私は、申請者が私にかかる補助対象経費を含めて補助申請し、申請者が補助金を受領することに同意します。□　私は、審査のため町が戸籍及び住民基本台帳の登録状況、町税の課税状況、町税等の納付状況を調査することに同意します。□　私は、他の公的制度による家賃補助を受けていません。□　私は、過去にこの制度に基づく補助を受けていません。□　私は、町税等の未納はありません。□　私は、現在無職です。□　私は、主たる勤務先から住宅手当を受給していません。配偶者署名　　　　　　　　　　　　　　　 |
| １０　添付書類 | □　婚姻届受理証明書又は婚姻後の戸籍謄本□　住民票□　所得証明書、その他新婚世帯の総所得がわかる書類【貸与型奨学金を返済している場合】□　奨学金返還証明書等、返済額がわかるもの【結婚を機に離職した場合】□　離職票【住居費用(購入、新築)の場合】□　売買契約書又は工事請負契約書及び領収書の写し【住居費用(賃借)の場合】□　賃貸借契約書及び領収書の写し□　住宅手当支給証明書【引越費用の場合】□　領収書の写し【リフォーム費用の場合】 □ 見積書の写し（内訳が分かるもの）　 □ 工事請負契約書及び領収書の写し　　　□　対象住宅の全体写真、工事箇所の着工前・完成後の写真□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |